

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

2022年度診療報酬改定によって、「リフィル処方箋」が4月から導入されたり、薬局における調剤業務の外部委託をめぐる議論が繰り広げられたりと、薬局業界には変化の嵐が巻き起こっています。

また、政府の規制改革推進会議の答申で「医療現場の人手不足を踏まえ、薬剤師が職種を超えて看護師の仕事を分担するタスクシェアを検討」することが記載されたほか、ファミリーマートが処方薬を東京都内約2,400店舗で受け取れるサービスを開始するなど、今後、薬剤師のあり方も大きく変わりそうです。

厚生労働省は「現状の業務のままだと薬剤師数が飽和する」と指摘しています。ただ、それでも薬学部は増え続けることが予想されるため、今後は薬剤師の業務を増やしていくことが避けては通れないでしょう。さらに、薬局業界だけでなく、薬学生の就職状況も変化。薬局の就職試験に落ちる薬学生が増え、「薬剤師免許があればなんとかなる」という時代は終わりを迎えました。

現状維持は衰退です。社会の変化に合わせて、薬剤師も変わっていかなければいけません。コロナ禍で社会が不安や不満を抱える時代だからこそ、薬剤師の専門性と存在意義をしっかりと見せ、「安心できる存在になるチャンスだ」と前向きにとらえて頑張っていきましょう。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子